



市議会から

こんにちは

NO. **79**

令和7年
7月25日 発行

(6月定例会)



水田を走る2本の電車

(今市工業高校 写真・美術部さんの作品)

私は電車の写真を撮るのが趣味で、休日には自分だけの撮影スポットを探しに出掛けます。この日は市内の農道を歩いていると田植え後の水田に景色が映り込んでいることに気づき、姿勢を低くして撮影してみると、2本の電車が水田を走るような写真になりました。今はきっと生長し青々とした葉で一面が覆われていると思います。皆さんもひと時の特別な景色を探してみませんか。

おもな内容

6月定例会で審議した議案と結果	2
委員会の委員変更のお知らせ	3
代表質問	4
一般質問	6
付託委員会審査報告	8
常任委員会活動報告	9
市議会活動の情報発信	10
議会のおもな動き・編集後記	12

6月定例会



本会議（採決）の様子

議案番号	議案名	審議結果
第51号案	副市長の選任につき議会の同意を求めることについて	原案同意
第50号案	市長の専決処分事項の承認について「日光市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定」	原案承認
第49号案	市長の専決処分事項の承認について「日光市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定」	原案承認
第48号案	市長の専決処分事項の承認について「日光市税条例の一部を改正する条例の制定」	原案承認
第47号案	市長の専決処分事項の承認について「令和6年度（2024年度）日光市一般会計補正予算（第7号）」	原案承認
選挙	栃木県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙	瀬高哲雄市長当選
第5号報告	令和6年度（2024年度）日光市下水道事業会計予算繰越計算書について	報告
第4号報告	令和6年度（2024年度）日光市水道事業会計予算繰越計算書について	報告
第3号報告	令和6年度（2024年度）日光市繰越明許費繰越計算書について	報告
第2号報告	令和6年度（2024年度）日光市継続費繰越計算書について	報告
第1号報告	市長の専決処分事項の報告について「損害賠償の額の決定及び和解」	報告
事件	所信表明について	表明
事件	事件	議決結果

令和7年6月定例会を5月28日から6月18日まで、22日間の会期で開催しました。市長の所信表明があり、審議した案件は、報告5件、選挙1件、執行部提出議案21件でした。
 なお、一般質問は6月12日、6月13日の2日間にわたり、8名の議員が21項目について行いました。

令和7年6月定例会で審議した議案と結果

第 67 議案号	第 66 議案号	第 65 議案号	第 64 議案号	第 63 議案号	第 62 議案号	第 61 議案号	第 60 議案号	第 59 議案号	第 58 議案号	第 57 議案号	第 56 議案号	第 55 議案号	第 54 議案号	第 53 議案号	第 52 議案号
日光市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	令和7年度(2025年度)日光市一般会計補正予算(第1号)について	市道路線の認定について「八日市28号線」	市道路線の認定について「一里塚線」	市道路線の廃止について「中宮祠市営住宅1号線」	財産の取得について「水槽付消防ポンプ自動車整備事業」	財産の取得について「高規格救急自動車整備事業」	財産の無償譲渡について「旧湯西川下地区集会所」	財産の無償譲渡について「旧とちぎ日光材細尾モデルセンター」	日光市個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について	日光市水道事業の布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	日光市日光福祉保健センター条例の一部を改正する条例の制定について	日光市下水道条例の一部を改正する条例の制定について	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	人権擁護委員の候補者の推薦につき議会の意見を求めることについて	固定資産評価員の選任につき議会の同意を求めることについて
原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案可決	原案適任	原案適任	原案同意

委員会の委員変更のお知らせ

委員会の委員が変更となりましたので、お知らせします。
 2名の議員辞職に伴い、総務常任委員会は、8名から6名となりました。
 また、委員の変更があった委員会は次のとおりです。

議会運営委員会(定数8人)

◎ 和田 公伸 ○ 大島 浩 (新) 田村 耕作 山越享太郎
 村上 正明 (新) 斎藤 久幸 川島 憲朗 斎藤 宏明

公共施設等あり方検討調査特別委員会(定数9人)

◎ 田村 耕作 ○ 齊藤 正三 斎藤 久幸 川島 憲朗
 斎藤 伸幸 青田 兆史 山越 梯一 亀井 崇幸
 (新) 嶋田 正法

〔◎：委員長 ○：副委員長 (新)：新たに委員となった委員〕



代表質問

令和7年6月定例会で行われた瀬高哲雄市長の所信表明に対し、4つの会派が代表質問を行いました。本号では、その概要をお伝えします。詳しくは、後日作成される会議録をご覧ください。
また、会派名の下の2次元コードをスマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、代表質問の録画中継を視聴できます。

代表質問について

日光市議会では、2人以上の議員で構成される会派に属する議員が、市長の「施政方針（所信）」等に対し、その会派を代表して質問を行うことができます。

代表質問は事前通告制をとっており、会派の構成人数に応じ質問の持ち時間を定めています。

○持ち時間（執行部答弁を含む）

会派構成人数	2人から	3人	20分
	4人から	7人	30分
	8人から	11人	40分

瀬高哲雄市長の所信表明（要旨）

市政経営の基本方針

日光市の若い世代が意欲を持って活躍できる社会をつくるのが、今の日光市に最も必要な変革であると考えている。日光市が持つポテンシャルを最大限に引き上げることで、ブランド力と競争力を高めるとともに、既成概念にとらわれることなく、大胆かつ積極的に市政を経営することで、日光市の「新しい景色」を創造していく。

7つの重要政策

(1)地域経済の発展に挑戦 (2)子育て・教育の整備に挑戦 (3)医療・福祉環境の整備に挑戦 (4)まちづくり・過疎対策に挑戦 (5)観光・スポーツ・文化の発展に挑戦 (6)行財政改革に挑戦 (7)防災・環境対策に挑戦

結びに

豊かな自然や深い歴史と文化に恵まれた日光市において、世界に誇る景観と市民の確かな生活の営みが調和し、未来を担う子どもたちの顔が輝く「新しい景色を創る」ため、全力を尽くして、市政経営に取り組んでいく。

光
和

動画視聴▼



亀井崇幸議員：日光市の「新しい景色」とは、具体的に、現在のどのような景色を、どのように創造したいと考えているのか。

瀬高哲雄市長：当市の人口減少は、若年女性の転出超過が大きな要因となっており、いわゆる「消滅可能性自治体」と指摘されている。深刻な人口減少からの脱却を図るためには、定住人口の獲得と社会減の抑制に向けて、当市のブランド力と競争力を高め、女性や若い世代が意欲をもって活躍できる社会を創っていくかなければならない。

具体的には、働く魅力・住まう魅力・学ぶ魅力など、当市の魅力を総合的に高めていくことで、多様な人材が集い、定着する基盤づくりを進めていく。加えて、地域への愛着を育み、健やかで快適な生活が送れるよう、きめ細かなサービスを提供し、人と人とのつながりの中で幸せを実感できるように、地域コミュニティ活動を支援していく。
日光市の「新しい景色を創る」とは個人や集団のウェルビーイング向上を基盤として、

その活力を地域や社会全体につなげ、ソーシャルウェルビーイングの高い社会を目指すことにある。

議員：行財政改革について、現時点で、どのように収入を増やそうと考えているのか。

市長：財源の確保については、財政健全化取組の基本方針に基づき、受益者負担の適正化を図るため、施設使用料などの引き上げや有料化を進め、市有財産の適正な活用や処分を推進していく。

また、ふるさと納税やネーミングライツの拡充、償却資産未申告調査による増収に加え、クラウドファンディングを始め、新たな財源の創出を検討するなど、あらゆる可能性を追求していく。

議員：議会との連携は、どのように考えているか。

市長：市と市議会の関係性については、二元代表制のもと、相互に独立し、健全に抑制と均衡を保ちつつも、市民福祉の向上という共通の目的に向けて建設的に協働する関係であると捉えている。

このため、私が先頭となり、議員の皆さんと真摯に向き合うことで、互いの立場を尊重しつつ、情報を共有しながら議論を重ね、より良い市政運営に向けた連携体制を築いていく。



齊藤正三議員：日光産業団地の林地を中心とした造成の検討について、また、産業団地の計画的造成について伺う。

瀬高哲雄市長：新たな産業団地の造成については、日光産業団地周辺の林地における造成可能性調査で適地であるとの結果が得られれば、造成の早期着手に向けて、県に働き掛けるとともに、私自らが様々な機会を捉え、積極的にトックセールスを行うことで、企業誘致を進めていく。

また、産業団地の計画的造成については、次の産業団地候補地の選定に向け、スピード感を持って取り組んでいく。

議員：日光市の置かれている危機的な財政問題を市民にどのような周知し、理解を求めようとするのか伺う。

市長：厳しい財政状況の中、当市においては、平成30年度に将来の歳入歳出の収支見通しを推計し、市民の皆さんと共有することで、持続可能な行政経営を進めていく指標とする「長期財政の収支見通し」を策定した。

令和3年度には、収支見通しと現状に乖離が生じてきた

ことから、今後想定される大規模事業を加え推計を見直した上で、財政健全化に向けた目標を位置付けた。その後、コロナ禍を経て、再度収支見通しに乖離が生じていることから、令和6年度の決算を踏まえ、令和7年度中に長期財政の収支見通しを改定することとしている。

令和6年度の決算の状況や改定後の収支見通しに基づき、議会を始め、市民の皆さんに今後の当市の財政状況をお示しすること、認識の共有を図るとともに、持続可能な市政経営に向け徹底した行財政改革を推し進めていくことについて、ご理解とご協力をお願いしていく。



齋藤久幸議員：既成概念にとらわれない既存事業の見直しなどの改革を進めるとしているが、「文化会館の新設」と、「廃校施設の活用」について、市長の考えを伺う。

瀬高哲雄市長：新文化会館の整備については、厳しい財政状況が続く間は検討を凍結する点として、また、子どもたち

の活躍の場として重要な施設であると捉えている。検討を再開する時期については、社会情勢や財政状況などを見極め、適切に判断していく。

また、廃校になった施設については、地域の実情やニーズを踏まえながら有効活用を図っていくことが重要と捉えている。

廃校施設の活用は、地域活性化の起爆剤になるものと考えているので、既存の制度にとらわれることなく、積極的なトックセールスにより、民間事業者へ働き掛けを行うなど、施設の有効活用を推進していく。

議員：今後の奥日光におけるゼロカーボンシティの実現に向けての市長の考えを伺う。

市長：現在、日光国立公園を有する奥日光エリアにおいて「雲の上のサステナブルリゾート・奥日光」をキャッチフレーズに「エネルギー・環境・観光」をテーマとして、脱炭素先行地域事業を進めているところである。関係団体や地域の皆さんへの理解促進、共同提案者である東京電力や東武鉄道と連携を図りながら、奥日光エリアにおけるゼロカーボン化を進めていく。



嶋田正法議員：多様な企業を誘致する具体的な方法と、若い世代が戻ってきたいと思えるまちとは、具体的にどのようなまちなのか伺う。

瀬高哲雄市長：新たな産業団地への誘致や、市内への企業立地に関しては、企業誘致基本方針を策定し、その方針に基づき、市の産業集積の柱となるべき企業や、若い世代がそこで働きたいと思える魅力ある企業を対象に誘致活動を展開し、トックセールスを積極的に行うとともに、熱意を持って企業誘致につながるアプローチを行っていく。

「若い世代が戻ってきたいと思えるまち」について、当市における就職先の選択肢の少なさが、若い世代の転出要因の一つと考えられる。このため、女性や若い世代にとって魅力的な働く場、暮らす場を創出することが肝要である。若い世代が自分らしく活躍できる環境を整えることで、日光市に愛着を持ち、新しいキャリアやライフスタイルを築きたいと思ってもらえるような、未来に希望を抱けるまちづくりに取り組んでいく。

一般質問

一般質問とは、市政全般にわたり、事務の執行状況や方針等について議員が市執行部に質問するもので、定例会ごとに行われます。

6月定例会は、6月12日、6月13日の2日間にわたり8名の議員が21項目の質問を行いました。

紙面では、質問事項と質問の「ここがポイント」を掲載しています。

なお、日光市議会は、広報紙を含めた情報発信のデジタル化を進めていることから、**質問の詳細は録画中継をご覧ください。**

議員顔写真下の2次元コードを、スマートフォンのバーコードリーダーで読み取ると、その議員の一般質問がご覧になれます。

また、一般質問は会議録で読むことができます。会議録は、市役所、行政センター、図書館などにあります。



日光市議会 中継

検索

ここがポイント

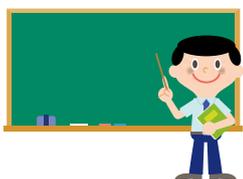


齊藤 正三 議員
(市民フォーラム志向)



動画視聴▶

- 【質問事項】
- ① 日光市立小中学校の教職員定数問題について
 - ② 野生鳥獣対策について



○小中学校の教職員定数問題：全国的に教職員不足が深刻化しているが、学校の統廃合が急速に進む日光市での現状はどうなのか？
○野生鳥獣対策：国の法改正により、市街地に出没した人間に危害を及ぼすクマへの銃の使用が、自治体(市長)の判断で可能になるが実際問題としては？

ここがポイント



村上 正明 議員
(市民フォーラム志向)



動画視聴▶

- 【質問事項】
- ① 日光市における農業支援等の今後について



農業従事者の高齢化や後継者不足は、重要な問題と捉えています。また、用水の管理や補修は、農業従事者にとって大きな負担となっています。杉の沢地域の隧道の崩落は、人力だけでは解決できないと思われる。事故を未然に防ぐ対応を市に伺いました。

ここがポイント



斎藤 久幸 議員
(グループ響)



動画視聴▶

- 【質問事項】
- ① 「中学生の提案事業費補助金事業」導入について
 - ② 鬼怒川温泉の廃ホテルについて
 - ③ 通学路の安全対策について

「中学生の提案事業費補助金事業」については、若者の政治離れを防ぐためにも何らかの方法で実現をお願いします。また、通学路の安全対策については、事故が起きてからでは遅いので早急な対応をお願いします。



高見 尚希 議員
(市民フォーラム志向)



- 【質問事項】
- ① 職場体験（マイチャレンジ）について
 - ② 診療所とオンライン診療について



👉 **ここがポイント**

中学校で行われている職場体験には多くの課題があります。内容の充実と教職員の事務負担の軽減になるよう、教育委員会の積極的な関与、働き掛けが必要であると主張し、オンライン診療については、へき地、山間部への医療提供課題解決の力ギになるため、市の考えをお尋ねしました。



荒川 礼子 議員
(公明党)



- 【質問事項】
- ① 5歳児健診について
 - ② 女性に配慮したAED使用について
 - ③ 認知症の人に寄り添ったユマニチュードの普及について

👉 **ここがポイント**

5歳児健診を行うことにより、近年増加傾向にある発達障がいのお子さんの早期発見や介入ができ、保護者の課題への気づきや生活への適応の向上が期待される。その後の人生を大きく左右することもあり、更なる支援の強化を求めました。



大島 浩 議員
(グループ響)



- 【質問事項】
- ① 移住・定住について
 - ② 植樹400年を迎える杉並木について
 - ③ 日光市の交通安全対策について
 - ④ 船村徹記念館の用途変更について

👉 **ここがポイント**

リゾートトラストに関する200人の移住案件に対する取組の中で、市が課をまたいだ対応をしたことで、相手方に対して、いい印象を与えることができた。こういった取組が、職員の意識向上につながり、また、移住から定住につなげていけるのではないかと感じた。



福田 悦子 議員
(日本共産党)



- 【質問事項】
- ① 「宿泊を伴う校外学習」における食物アレルギー対応について
 - ② 市営住宅入居時の連帯保証人廃止について
 - ③ 放射性物質汚染廃棄物の処分について
 - ④ 平和に対する市長の政治姿勢について

👉 **ここがポイント**

学校の食物アレルギー対策は万全の対応を図っていることが明確に示され、また、放射性物質汚染土壌は一般住宅1,011か所、その他、保育園や小中学校等全体で1,200か所に保管。今後、国の指針に基づき対応を図るが、不透明な実態があることが示された。



嶋田 正法 議員
(公明党)



- 【質問事項】
- ① 観光振興を目的とした、新たな税制の導入について
 - ② 使用済みマンホール蓋の売却による収益化、市政20周年記念蓋の制作、水道メーターのセルフ検針による料金引き下げについて

👉 **ここがポイント**

「観光業の未来への投資」を実現するためには、安定的な財源の確保が不可欠です。その手段の一つとして、新たな観光税の導入について質問を行いました。全国的には導入が進んでおり、有用性について議論しました。

一般質問の振り返り動画

一般質問終了後、議場で一般質問の振り返り動画を撮影しています。一般質問が終わり、ホッとするのも束の間、撮影に臨んでいます！

撮影した動画は、日光市議会X（旧ツイッター）で配信していますので、ぜひご覧ください。

一般質問の様子は、YouTubeで配信していますので、あわせてご覧ください。



予算審査特別委員会

予算審査特別委員会において、令和7年度(2025年度)日光市一般会計補正予算(第1号)について審議し、原案どおり可決しました。

一般会計補正予算(第1号)の概要

歳入歳出予算の総額それぞれ3億3,300万円を追加し、予算総額を474億300万円とするもの。

《主な事業》

● **定額減税補足給付金(不足額給付)支給事業費** (363,137千円)

令和6年度に支給した定額減税補足給付金に対し、令和6年の所得税をもとに算出した確定給付額が増額となる方に差額分を追加支給する。

● **更生医療給付費** (3,863千円)

更生医療給付における資格確認等をオンラインで行うためのシステム改修を行う。

● **地域こどもの居場所づくり推進事業費** (4,500千円)

国のモデル事業として採択されたことから、事業内容を拡充し業務委託料を増額する。

● **クリーンセンター維持管理費** (△149,000千円)

令和7年度から令和8年度にかけて実施するクリーンセンター設備更新について、設備の損耗状況に応じて工程を見直して実施するため、改修工事請負費を減額する。

● **小来川公民館整備事業費** (110,500千円)

小来川公民館の建設工事を前倒しして実施するため、整備工事請負費等の増額をする。

主な質疑と答弁

【地域こどもの居場所づくり推進事業費】

問・国のモデル事業として採択された事業の具体的な内容について伺う。

答・子どもたちを自然や文化施設等に連れていき、学びや交流の機会の場を提供する事業である。また、団体への委託の中で、高校生や大学生などの若者へ募集をし、事業内容の検討や周知、準備から当日の引率まで若者に携わってもらうという内容である。

【クリーンセンター維持管理費】

問・クリーンセンターの設備更新の工程見直しの内容と補正予算とした理由を伺う。

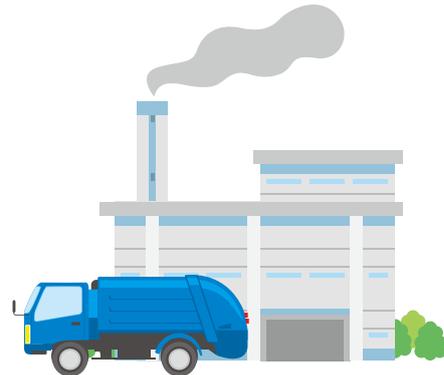
答・当初、令和7年度に予定していた通風設備と飛灰処理施設の更新を令和8年度に代え、優先度が高いクレーン施設の更新を先行する工程に変更したものである。令和7年2月に点検をした結果を受けての工程変更であるため、補正予算での対応とした。

問・通風設備と飛灰処理施設の更新を1年延ばしたことによる影響はないか伺う。

答・故障箇所の修繕ではなく、設備の長寿命化を図るための更新であるため、影響はない。



予算審査特別委員会審査風景



常任委員会活動報告

総務常任委員会 活動報告

総務常任委員会は、6月9日(月)に三依公民館にお伺いし、所管事務調査事項である「防災・減災対策について」、三依地区自主防災連合会の役員の皆様と意見交換を行いました。

当日は、平成27年に発生した東日本豪雨により土砂災害が起きた芹沢地区の現地に赴き復旧の状況を確認しました。その後、公民館にて災害時の記録を基に作成されたDVDを視聴した後、意見交換を行い、実際に災害を目的の当たりにされた方々の声をお聞きし、当時の災害の大きさを改めて実感いたしました。

情報の伝達方法や避難所対策、自主防災対策など、土砂災害による孤立と、避難生活を体験して見えてきた課題も多く、自助・共助・公助の重要性を再認識しました。特に孤立集落への対応として、インフラ整備の強化、防災情報の確かな伝達、ハザードマップに即した避難所の選定や避難所運営など、あらゆる準備は急務であると考

えます。
今回の意見交換を受け、刻々と変化し、いつ発生するかわからない災害に備え、引き続き当市の制度や計画について必要な調査・研究を行ってまいります。

(川島憲朗副委員長)



三依地区自主防災連合会役員との意見交換の様子

民生教育常任委員会 活動報告

民生教育常任委員会では、昨年度より所管事務調査事項として「通所型サービスについて」と「学校運営協議会について」を調査研究しています。

3月27日(木)には「日光市障がい者の会」やそのほかの関係団体との意見交換会を行いました。その中で、「担い手の高齢化が進んでおり、事業運営側の人員が不足してきていること」や「事業運営側が利用者を送迎するにあたり、交通手段の確保が困難化してきていること」、「他の民間団体と連携して互いを補い合える可能性があるか」等の重点課題について、各団体の方と話し合うことができました。

また、6月2日(月)には、大桑小学校の学校運営協議会を現地調査しました。学校運営協議会是个々の学校ごとに、メンバー構成や開催事業、会議の進め方などが異なっており、その運営方法は様々であることが分かりました。委員の皆さんと意見交換できたことで今までの認識が違っていることが分かり、より理解が深まりました。

年度内の調査報告に向けて、これからも調査研究を深めていきます。

(亀井崇幸委員長)



障がい者の会との意見交換会の様子

観光産業常任委員会 活動報告

当委員会は、5月9日(金)に所管事務調査事項である「まちづくりについて」、今市地域の中心市街地活性化に向けた市の若手職員による「まちなかりバースプロジェクト庁内検討チーム」から活動実績(社会実験の結果)報告を受け、意見交換会を行いました。

その内容は、ターゲットを「高校生」・「未就学児の子育て世帯」・「20代〜40代の若者」の三世代とし、人が集まりやすい空間が与える影響についての社会実験を行った結果の報告をいただきました。

「低額の料金でドリンク等が提供され勉強ができる環境が整えば、高校生が利用しやすい」、「年齢関係なく、広い室内スペースで安全に遊べる場所に子育て世帯の需要がある」、「飲食店・カフェや広場などの憩いの空間としての利用に若者からの一定のニーズがある」など、まちなかりバースプロジェクト庁内検討チームの結果報告は、委員会として大変参考になりました。

今後他市の先進地事例等も参考に、市民のみなさんにとって、より良いまちづくりができるよう引き続き取り組んでまいります。

(青田兆史委員長)



まちなかりバースプロジェクト庁内検討チームとの意見交換の様子

市議会活動の情報発信について



市議会では市民の皆さんに議会を身近に感じてもらうため、本会議の生中継・録画中継の配信をしています。また、情報発信強化のためX(旧ツイッター)を活用した情報発信をしています。パソコンのほか、スマートフォン等で視聴・閲覧できますので、ぜひご覧ください。

※通信料は利用者負担となります。

日光市議会アカウントのアイコン

X(旧ツイッター) について

Xを活用して、定例会や委員会などの会議日程や、委員会の活動内容、日光市議会からのお知らせなどを発信しています。また、一般質問の「中ぶり広告風」のお知らせや、一般質問後の振り返り動画の発信などを行っています。

※発信専用のため返信やフォローは行っておりませんので、ご了承ください。



日光市議会 X

本会議を YouTube で配信しています

本会議の生中継、録画中継を YouTube で配信しています。

定例会は、2月、6月、9月、12月に開催していますので、ぜひご視聴ください。



youtube.com/@3-hl4pv



会議録を閲覧できます

市議会のホームページから、平成18年第1回臨時会からすべての本会議の会議録を閲覧することができます。



日光市議会 会議録



日光市議会公式 YouTube チャンネル



日光市議会公式 X



議会デジタル化推進検討班活動報告

5月より班長となった大島です。今年度の議会デジタル化推進検討班は、前班長であった瀬高議員の辞職により、新たな班員を迎え新体制のもと活動を始めました。活動の方向性としては、前班長とともに作り上げてきた活動を今まで以上に進めていく考えです。議場での傍聴やYouTubeでの配信等によって、多くの方々に議会活動をご覧いただけるようX（旧Twitter）での一般質問の中づり広告風の発信、また、一般質問後の各自振り返り動画や各種委員会活動等ができる限りリアルタイムで発信することを活動の基礎として心がけていこうと考えています。日光市議会の活動内容の発信はもとより、さらなる情報の発信としては、市議会議員全体の日々の活動などが、市民の皆さんに分かりやすく、親しみやすいものとなるように工夫していかなくてはならないと思っています。班員と一丸となって、議会活動を発信していくような取り組みにつなげていけるよう今後も活動していきます。

（大島浩班長）



中づり広告風の一般質問案内を持った班員

次回（令和7年9月）日光市議会定例会会期日程予定

【会期 8月29日（金）～9月26日（金） 29日間】

月/日	曜日	会期日程	備考	月/日	曜日	会期日程	備考
8/19	火		陳情締切(17時)	9/11	木	本会議	一般質問
8/29	金	本会議	開会・上程・議案説明	9/12	金	本会議	一般質問予備日
9/2	火	本会議	委員会付託	9/16	火	本会議・決算審査特別委員会	採決
9/4	木	付託委員会	議案等審査	9/17	水	決算審査特別委員会	分科会審査
9/5	金	付託委員会	議案等審査	9/18	木	決算審査特別委員会	分科会審査
9/8	月	付託委員会	議案等審査	9/19	金	決算審査特別委員会	分科会審査
9/10	水	本会議	一般質問	9/26	金	決算審査特別委員会・本会議	採決・閉会

※ この予定は変更となる場合がありますので、議会傍聴等は改めて議会事務局にお問い合わせ願います。
 問合せ先 0288-21-5140（議会事務局直通）

総務常任委員会

- ▶ 5月9日 ● 所管事務調査事項「防災・減災対策について」
- ▶ 5月26日 ● 所管事務調査事項「防災・減災対策について」
- ▶ 6月6日 ● 付託議案審査
- ▶ 6月9日 ● 三依地区自主防災連合会との意見交換会
- ▶ 6月18日 ● 付託議案審査

民生教育常任委員会

- ▶ 5月9日 ● 通所型サービスBの訪問調査について他
- ▶ 5月26日 ● 大桑小学校の学校運営協議会の現地見学について
- ▶ 6月2日 ● 現地調査（大桑小学校学校運営協議会）
- ▶ 6月6日 ● 付託議案審査
- ▶ 6月13日 ● 行政視察について他
- ▶ 6月27日 ● 現地調査（オアシス支援事業者）

観光産業常任委員会

- ▶ 4月4日 ● 所管事務調査事項「まちづくりについて」
- ▶ 5月9日 ● 所管事務調査事項「まちづくりについて」に係る「まちなかりバスプロジェクト庁内検討チーム」実績報告及び意見交換
- ▶ 6月6日 ● 付託議案審査他

議会運営委員会

- ▶ 5月23日 ● 令和7年6月定例会について（陳情）他
- ▶ 5月26日 ● 令和7年6月定例会について（会期日程等）
- ▶ 6月18日 ● 令和7年6月定例会の日程追加について
- ▶ 6月18日 ● 一般質問におけるモニターを使用した資料等の掲示及び配付の審査方法について他

議員全員協議会

- ▶ 4月4日 ● 各委員会の担当職員について他
- ▶ 5月9日 ● 日光市ネーミングライツ事業（細尾ドームリンク）について他
- ▶ 5月26日 ● 令和7年6月定例会提出予定案件について他
- ▶ 6月18日 ● 令和7年6月定例会提出予定追加議案について

広報広聴委員会

- ▶ 4月4日 ● 4月25日発行広報紙について
- ▶ 5月26日 ● 7月25日発行広報紙について

行政調査特別委員会

- ▶ 6月18日 ● 令和7年度行政視察について

予算審査特別委員会

- ▶ 6月6日 ● 付託議案審査



表紙の写真を募集しています！



日光市議会では、広報紙「市議会からこんにちは」の表紙写真を募集しています。日光市の素敵な場所、お気に入りのスポット、頑張っている人などを紹介してください。市内在住・在勤・在学の皆様からのご応募をお待ちしております。



次号（10月25日発行予定）の応募締切は8月31日です。

応募方法等詳しくは、日光市議会ホームページをご覧ください。議会事務局までお問い合わせください。

編集後記

この議会広報紙の原稿を執筆中に、全国各地で梅雨が始まったとの知らせが届きました。また、全国的にコメ不足であるとのニュースも連日のように放送されており、日光市は稲作農家が多く存在し、その米は新潟産米と比較しても遜色なく、美味しく美味いという評価を受けております。

同僚議員にも農家の方がおり、雑談のなかでも米不足の話が出ますが、休耕田を耕すにも時間がかかり、また人材的にも後継者や若者が少なく「急な増産は相当に難しい」ということでした。そもそも農業は、遥か昔から続く最も古い職業のひとつでありますが、最も過酷で最も自然の影響を受ける業種だと思います。

今の生産量では、数年間連続して大豊作でないと米不足は解消しないとの報道もありましたので、これからの天候が安定し、大雨や台風による被害がでないことを祈っております。日本人がもう一度自国の食料自給率に関心を持ち、見直すきっかけになったのは良いことですが、すぐには改善できない問題ですので、悩ましい日々が続きます。

（広報広聴委員 亀井崇幸）